

# 社会教育だより

編集・発行:相双教育事務所長 佐藤 由弘



## 相双域内地域学校協働研修会開催

12月17日(火)、南相馬市の環境創造センター環境放射線センターで、相双域内地域学校協働研修会を開催しました。

### 研修会の目的

- 「社会に開かれた教育課程」「地域と共にある学校」の実現に向けて、学校と地域との連携・協働活動の意義や推進の方策等について、実践事例発表や情報交換、演習等から学ぶ機会とする。
- 学校と地域が連携・協働した望ましい在り方について考えることをとおして、地域連携担当教職員や教育行政職員、社会教育関係者等の資質向上を図る。

### 研修会の内容

- 事例発表「川内村の地域学校協働活動」「富岡町の学校支援活動」
- 情報交換「地域連携担当教職員(地域学校協働推進委員会)の取組状況、その成果や課題」
- 演習「地域連携担当教職員(地域学校協働推進委員会)業務のマニュアル作成」
- 「連携・協働のための全体計画・年間指導(活動)計画作成」

### 【参加者の声】

- 地域学校協働活動といってもまだまだ勉強不足でピンときていないことも多いが、川内村、富岡町の方々の発表を聞き、少しは理解できたかと思った。
- 川内村や富岡町のように、教育委員会との連携のシステムがしっかりしているところが、目指す形として参考になった。
- 地域連携による学校・地域・生徒のメリットを改めて感じる事ができた。
- △ まず本校は、しっかりとした全体計画がないので、ここから取り組まないといけないと思った。  
\* **全体計画の必要性**を感じた方が多数いらっしゃいました。
- △ 地域コーディネーターは誰が任命するのか。コーディネーターがいないので、結局地域連携担当教職員がいろいろなところと渉外を行うことになっている。窓口は一本化できるとよい。
- △ 地域コーディネーターや地域の人材が分からない。思い起こすと地域の方に入ってもらうこともあるので、もう一度整理したい。



各市町村や各学校の実態によって、地域学校協働活動の取り組み方は様々です。アンケートでは、現状や今後についての課題や悩みごとなどの声も多く見られました。全体計画の作成や協働活動の進め方などについて、教育事務所としてもできる限りの支援をして参りますので、いつでもご相談ください。

# 文化財パトロール事業

福島県では、県内に所在する文化財の管理状況等を常時把握し、文化財保護に万全を期するとともに、地域の住民の方々に文化財保護思想の普及活動を行うため、下記の内容で文化財パトロールを計画的に行っています。その概要や巡視する文化財について、ご紹介させていただきます。

## 【方法】

福島県教育委員会から委嘱された福島県文化財保護指導委員を中心に該当市町村の文化財担当者、相双教育事務所員が福島県教育委員会が決定した計画に基づいて文化財等の巡視を行います。

## 【巡視場所】

重要文化財、史跡・名勝、天然記念物

\* 今年度から3年間かけて、県指定文化財全てを巡視します。

## 【巡視の観点】

- ・保存状況（無断現状変更はないか 風化・剥落・退色・腐食はないか 等）
- ・防災関係（火災・盗難・雨漏り・病虫害被害はないか 等）
- ・清掃状況（ゴミの処理 等）
- ・標識や説明板の（破損等はないか）

## 【今年度の巡視場所】

市町村	種 別	名 称
新地町	県 史跡	観海堂
	県 史跡	三貫地貝塚
	県 天然記念物	白幡のイチョウ
相馬市	県 重要文化財（工芸品）	万蔵院御正体
	県 重要文化財（古文書）	相馬岡田文書
	県 有形民俗文化財	髪飾り用具コレクション
	県 有形民俗文化財	田代駒焼登り窯
	県 有形民俗文化財	旧修験岩崎家所蔵修験資料
	県 史跡	中村城跡
南相馬市	県 重要文化財（彫刻）	木造十一面観音立像
	県 重要文化財（彫刻）	木造阿弥陀如来坐像
	県 重要文化財（彫刻）	木造毘沙門天立像
川内村	県 重要文化財（彫刻）	木造虚空蔵菩薩坐像
檜葉町	県 史跡	天神原遺跡
	県 天然記念物	塩貝の大力ヤ
広野町	県 重要文化財（彫刻）	木造阿弥陀如来坐像



広野町：木造阿弥陀如来坐像



相馬市：髪飾り用具コレクション